

令和8年度校長挨拶

本校ホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

令和8年度も引き続き校長を務めます下野智昭でございます。日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本校、沖縄県立八重山商工高等学校は、昭和41年に認可を受け翌年開校し、本年度で創立60年を迎える歴史と伝統ある学校です。日本最南端の高等学校として、八重山地区における商業・工業教育の中核を担い、地域に根ざした実践的な教育活動を展開しております。

本校には全日制課程と定時制課程を設置し、全日制では商業科及び工業科、定時制では商業科を有しております。各課程において、生徒は専門的な知識・技術の習得に励むとともに、主体的な学びを通して将来の進路実現に向けた力を着実に身に付けています。また、資格・検定の取得においても、商業分野及び工業分野の難関資格に積極的に挑戦し、その努力が成果として実を結んでいます。

部活動におきましても、生徒は学業との両立を図りながら日々意欲的に活動しています。サッカー部は昨年度、県大会において第3位の成績を収めるなど着実に力を伸ばしています。さらに、ボウリング部は全国大会において個人第3位、団体第4位という優秀な成績を収めました。また、郷土芸能部は本年度、秋田県で開催される全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において、八重山農林高等学校と合同で沖縄県代表として出場いたします。これらの成果は、生徒たちの努力の積み重ねの賜物であり、大変嬉しく感じております。

校訓「友愛津梁」には、友愛の精神をもって広く世界を結ぶ架け橋となる人材の育成という願いが込められています。この理念のもと、地域社会との結び付きを大切にしながら、国際的な視野を備えた人材の育成にも取り組んでおります。

とりわけ本校では、観光コースを中心に中国語教育を推進するとともに、台湾の国立花蓮高級中学及び国立花蓮高級農業職業学校との姉妹校交流を継続的に行っています。相互訪問やオンライン交流などを通して、生徒たちは異文化理解を深め、国際感覚を育んでいます。これらの取組は、地域に根ざしながら世界へと視野を広げる貴重な学びの機会となっています。

今後も本校は、「地域に愛され、世界とつながる学校」として、生徒一人ひとりの可能性を大切にしながら、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。

引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年4月

沖縄県立八重山商工高等学校

校長 下野智昭